

市議会だより

第53号

平成29年
11月1日発行

編集・発行
五島市議会議会広報特別委員会
五島市福江町1番1号
TEL.0959-72-7923

ごとう



市民運動会

10月8日、毎年恒例の市民運動会が各地区で行われ、スポーツを通して地域の絆を深めました。



写真は福江地区の様子

9月定例会の あらまし

9月定例会は、9月13日から29日までの17日間の日程で開催されました。

9月19日と20日には、一般質問を行い、21日から27日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、最終日の29日に、市長提出議案の平成29年度補正予算、条例等30件を可決、人事案件2件を同意。

さらに、請願1件、議会議案2件、決議1件、陳情2件についても、それぞれ審議決定されました。

目次

補正予算の主な事業	P2
一般質問	P3~ P5
委員会審査	P5~ P6
審査結果、賛否一覧表	P7
管内調査、行政調査	P8
編集後記	P8

補正予算の主な事業

離島教育プログラムによる
交流・移住促進事業

629万1千円

全国の中高校生及び大学生に五島ならではの職業体験を提供することで、五島への愛着の醸成や就業への動機形成を図るとともに移住・定住につながるような離島教育プログラムを制作するための調査研究及び実証事業を行う。

浄化槽設置整備事業

4千320万2千円の追加

平成26年度から海の再生プロジェクト事業として補助額を増額した効果で、合併処理浄化槽の設置件数が増加傾向にある。当初予算で計上している350基分を上回る申請見込みであることから浄化槽の整備促進のため65基分を追加する。

旧奈留町ごみ焼却場除却事業

888万7千円

旧奈留町ごみ焼却場は、稼働停止から20年が経過し、施設の老朽

化も著しく、外部環境へ影響を及ぼすことも懸念されているため、平成30年度中に解体することとし、有害物質の事前調査や工事発注に伴う仕様書等の作成を行う。

低コスト牛舎等整備支援事業

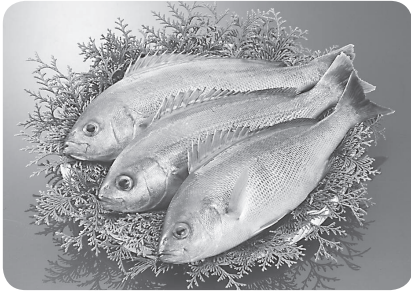
1千404万7千円

繁殖と肥育の一貫経営への転換を推進するとともに、建設コスト低減に繋がるスマート牛舎の導入や、既存牛舎・空き牛舎の補改修・増築等により低コストで増頭を目指す経営体に対して支援を行う。

農水産品輸送コスト支援事業

3千816万5千円の追加

本年4月の国境離島新法の施行に伴い、農水産物の移出及び原材料の移入にかかる輸送費の支援を行っている。畜産品及び水産品については移



輸送コスト支援対象の水産物

出・移入ともに当初計画を上回る見込みであることから補助金を追加する。

求職者人材育成対策事業

148万3千円

雇用におけるミスマッチの解消と就職率の向上を目的として、市内のオフィス系企業及びサービス産業における求職者のスキルアップを図るため、基礎知識及び技術に加え、実践形式の訓練による人材育成を委託により行う。

放送コンテンツを活用したインバウンド促進事業

108万円

長崎国際テレビが総務省の放送コンテンツ海外展開助成事業を活用し、タイのテレビ番組を通じて、離島ならではの豊かな自然、伝統文化、人情や癒しを発信することで、交流人口の拡大や産業振興につながることを目指す「Experience of Nagasaki」離島創生・Travel Story」事業に長崎県及び関係自治体と連携し参画するため、費用負担を行う。

特定空家等解体事業

306万1千円

市内の老朽危険空き家1棟について、建物自体が傾き、屋根の崩落などが見られる状況で、児童生徒の通学路にも面しており、倒壊した場合、周囲に被害を及ぼすおそれがある。そのため、「特定空家等」に認定し、これまで指導及び勧告を行ってきたが、改善の措置が取られないことから、行政代執行による手続を進める。

福江中学校管理教室棟外壁改修事業

5千175万2千円

管理教室棟について、老朽化による外壁塗装の劣化が著しく、屋上においても保護コンクリート下の防水層が破損している恐れがあることから外壁、屋上の改修工事を行う。



福江中学校の管理教室棟

一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

問 商店街の空き店舗の利活用は

答 店舗が住宅を兼ねているため、利活用は進んでいない



網本 定信 議員

質問 商店街の空き店舗の利活用状況は。

答弁 空き店舗については、住宅を兼ねているなどの理由から利活用は進んでいない状況であるが、今年度、市内へ進出した企業などの物件探しには市も協力しており、今後市としてできることを支援していきたい。

雇用を生み出す政策は

質問 市内に雇用を生み出すための政策は。

答弁 本年4月に施行された国境離島新法に基づく雇用機会拡充事業を活用した事業採択で、147名の新規雇用を予定している。また、

五島市企業立地及び雇用促進条例に基づく支援制度を活用し、今年度、市外から2社が本市に進出しており、3ヶ年で57名の雇用が予定されている。これらの施策により新たな所得と雇用を創出し、並行して企業面談会などの人材確保対策と職業訓練による人材育成を強化していきたい。



市外から進出した株式会社ビーイングDC

運転免許証自主返納者へ支援を

質問 運転免許証を自主返納した者に対する交通支援が必要では。

答弁 市交通安全協会が、5月から免許証返納者に対してタクシーやバスで利用できる1万円分の乗車券を交付している。また、県内の交通安全協会やタクシー協会、一部自治体で交通機関利用時の助成や割引制度が導入されており、本市でも五島バスにおいて高齢者回数券割引制度を実施しているが、さらに利用しやすい制度の導入に向けて協議を進めている。

問 小中学校への冷暖房設置ができないか

答 財源確保の面から、普通教室への設置は当面の間、難しい



江川美津子 議員

質問 これまで学校施設の耐震化のため、財源の確保が難しいとのことであったが耐震化率が95.2%にまで進んだ現在、小中学校の各教室へ冷暖房の設置を検討できないか。

答弁 耐震化終了後も老朽化による学校施設の大規模改修が見込まれることから、普通教室への設置については当面の間は難しい状況である。

まずは、特別支援教室について、未設置解消に努めたい。なお、普通教室については、体感温度を下げる効果を目的に、扇風機を設置する方向で検討したい。

国保の県営化に向けた進捗状況は

質問 平成30年度の国保県営化移行に向けた協議の進捗状況は。

答弁 現在、各市町の担当者で構成する4つの作業部会で市町が担う事務の標準化、共通化に向けて協議を行っている。今後は、そこで検討された案を国保の所管課長で構成する連携会議に諮り、最終的な方針の決定を長崎県国保運営協議会で行うこととしている。

路線バスの運賃もJR運賃並みの料金となるよう要望を

質問 国境離島新法による運賃低廉化については、路線バスもJR運賃並みの料金となるよう国県に対して要望していくべきでは。

答弁 路線バス運賃については、離島以外の過疎地域でも同様に運賃が高い状況にあるため国境離島新法による運賃低廉化は難しい状況であるが、長崎県市長会などを通じて国県に対して要望していきたい。



市内を走る路線バス

問 新図書館建設の今後の予定は

答 平成32年度中の開館を目指す



野口 善朗 議員

質問 図書館の現状と新図書館建設事業の今後の予定は。

答弁 建物の躯体は築後58年が経過し、施設内外の劣化が顕著である。また、開架スペースが狭く、所蔵図書の一部は旧戸岐小学校に保管している。

新図書館の建設については、昨年11月から検討委員会を5回開催しており、今後も検討委員会や住民説明会等での市民の意見を聞きながら、本年度中に基本計画の改訂版を策定し、平成32年度中の開館を目指している。きたい。



施設の老朽化が進んでいる現在の図書館

問 道路の維持管理の状況は

質問 道路沿いに繁茂する雑木、雑草等の計画的な伐採と除草を。

答弁 除伐等は、草木の繁茂期である6月から11月の実施を基本に、国・県道及び市道の委託施工分の大半はお盆前の完了を目標としている。なお、道路沿いから越境する枝は緊急性が高い場合に限り必要最小限の措置を行うが、原則として土地所有者に適正管理をお願いしていきたい。

問 四季を感じる花木等の植栽による景観づくりを

質問 四季を感じる花木や花の植栽による自然美豊かな景観づくりを地域と協働で進めては。

答弁 今年度、観光コースとなる国・県道を含む道路沿いへ四季を感じる花木等の植栽を予定しており、工区ごとに地区住民と協議しながら進めている。市景観計画を策定後、市民の参加と協働による様々な景観づくりの活動が進められており、今後も観光資源を含め、花木の植栽などで、自然美を島外へアピールする取り組みを地域との協働で進めていきたい。

問 障がいに対する理解促進に向けた広報・啓発活動を

答 今後も関係団体等と協力しながら取り組んでいく



山田 洋子 議員

質問 本市の障がい者数は人口の約9%を占めているが、障がいに対する市民への理解促進に向けた広報・啓発活動の取り組み状況は。

答弁 障がい福祉制度などの情報を広報紙等で周知しているほか、「障がい者和い輪いまつり」を毎年開催している。また、10月には関係団体の協力を得て職員を対象に研修を実施予定であり、今後も関係団体と協力しながら理解促進に努めていきたい。

問 高齢者の生活安全対策を

質問 高齢者の振り込め詐欺防止対策と、高齢者世帯の見守り支援の取り組み状況は。

答弁 振り込め詐欺対策として、広報紙やCATV、出前講座による啓発活動を行っている。

見守り支援としては、新聞販売店などの民間事業者と高齢者見守り支援協力協定を締結しているほか、市高齢者見守りネットワーク連絡会を立ち上げ、見守り支援体制拡充に向け

取り組んでいる。また、独り暮らしの高齢者の急病・災害等の緊急時に対応するためシルバーホンを利用した高齢者等緊急通報事業を実施している。



高齢者世帯の見守りに活用されるシルバーホン

問 五島市を全国へPRする活動を

質問 本市の魅力为全国へPRするための島外での活動の状況は。

答弁 市の東京、福岡両事務所を起点に観光客誘致や物産の販路拡大を目的として、宣伝営業活動を実施している。事務所を設置した平成26年度からの3年間の実績は、観光関係で旅行やスポーツ合宿など58団体、約2千400人を誘客し、物産関係で東京、福岡の百貨店等と119件の取引が実現したほか、18回の物産展を開催している。

問 市内全域をめぐる巡礼路づくりに取り組みべきでは

答 市内の教会めぐりに食や体験を絡めた商品開発に取り組みたい



木口 利光 議員

質問 世界遺産登録の実現による経済効果を高めるため、市内全域の教会等をめぐる巡礼路づくりに取り組むべきでは。

答 現在、五島列島キリシタン物語等の旅行商品で旧五輪教会堂、江上天堂をめぐるツアーを実施しているが、市内には他にも堂崎教会など20の教会があることから、市内全域の教会めぐりに食や体験を絡めた商品開発に取り組みたい。



ツアーで教会を訪れた観光客

観光客へ教会マナーを周知徹底すべきでは

質問 今後、急増することが予測

される観光客に対し、教会訪問時のマナーを周知徹底すべきでは。

答 教会マナーについては、ガイドからの事前説明や掲示等で周知しているが、禁止されている内陣への立ち入りも見られることから、さらに徹底して周知したい。また、教会関係者と観光関係者が情報共有、意見交換をする機会を増やし、問題発生時でもすぐに対処できるようにしていきたい。

中学校部活動における 対外試合不足への対策は

質問 対外試合確保に悩む中学校の部活動活性化のため、対外試合確保や地元指導者の指導力向上に取り組むべきでは。

答 練習相手の少ない市内の子ども達に島外の子とも達と練習や試合ができる環境を作ることがスポーツ合宿誘致の目的の一つであることから、今後も合宿誘致に取り組んでいきたい。また、実業団の合宿に合わせ、指導力向上のための講習会を開催できるように地元指導者の意見を取り入れながら、調整したい。

委員会 分科会 の審査

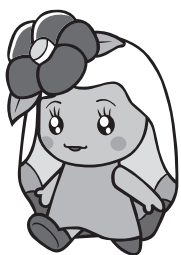
総務委員会

○離島教育プログラムによる交流・移住促進事業

629万1千円

問 全国の中高校生及び大学生が五島独自の職業体験や地元学生等との交流を図ること、五島への再訪や将来の移住・定住につながるような離島教育プログラムを制作するための委託料が計上されているが、委託先の選定方法は。

答 委託先は、公募を行いポータル方式で選定する予定である。また、制作されたプログラムについては、全国へ発信していく考えであり、五島ならではの農業、漁業、観光、再エネなど幅広い分野の体験や民泊等を組み入れたプログラムの制作ができる業者に委託したい。



文教厚生委員会

○議案第88号 五島市奨学資金給付条例の制定について

提案理由

学業成績が特に優秀な者で、経済的な理由により修学が困難な者に対して学資を給付する奨学資金給付制度を創設するに当たり、必要な事項を定める必要がある。

問 奨学資金の給付対象者数及び給付停止要件は。

答 給付対象者については、成績要件の該当者は年に1名程度と想定しているが、成績・所得要件ともに満たす給付対象者が複数名となる場合もあり得るので、年ごとの対象者数の上限は設けないこととしている。給付の停止要件については、休学のほか、本人と生計を一にする者（保護者等）が市税滞納または所得超過になったときである。

○議案第91号 五島市山本二三美術館条例の制定について

提案理由 郷土出身の画家である

山本二三氏の作品等を常設展示する美術館を開設するため、設置及び管理に関する事項について、条例で定める必要がある。

問 常設展示のほかに、企画展示ではどのような作品の展示を予定しているのか。

答 当面は、山本二三氏の作品で常設展示できない作品を中心に企画展示をしていきたい。また、本施設は市の芸術、文化の発信基地となるべき場所と考えており、状況を見ながら他の作者の優れた美術作品についても企画展示を行っていききたい。



山本二三美術館に改修される武家屋敷・松園邸

○浄化槽設置整備事業

4千320万2千円の追加

問 浄化槽設置整備のための補助金について、当初予算の350基分に、今回65基分を追加しているが、追加分の基数をどのように見込んでいるのか。

答 設置基数については、浄化槽の設置届出先である保健所への申請状況の確認を行うほか、設置業者などへも問い合わせを行い見込んでいます。

問 平成26年度からの5カ年を計画期間として、合併浄化槽の普及促進を図ることを目的に、補助金の嵩上げを行う海の再生プロジェクト事業を実施しているが、期間終了後の事業計画はどのようになるのか。

答 設置件数の増加は、当該事業の補助額の嵩上げによる効果と分析している。今後の方針については、来年度に見直し予定の生活排水処理計画において決定していきたい。



○経済土木委員会

○特定空き家等解体事業

306万1千円

問 老朽危険空き家1棟について、県内では初めて、全国でも事例が少ない行政代執行による解体費用として工事請負費等が計上されているが、その理由は。

答 当該空き家は、建物自体が傾き、屋根の崩落などが見られる状況で、児童生徒の通学路にも面しており、倒壊した場合、周囲に被害を及ぼすおそれがある。

空き家対策については、全国でも早くから取り組んでおり、当該空き家についても、これまで指導及び勧告を行ってきたが、現在まで改善の措置が取られていないことから、行政代執行を行うことも見据えて計上した。

問 行政代執行を行った場合の費用の回収は。

答 行政代執行に要した費用については、国税滞納処分例により徴収できるとされていることから、市税の滞納処分と同様の手続きにより徴収する予定である。

○市営交通船富江―黒島航路の用船料

147万9千円の追加

問 増額する理由は。

答 富江―黒島航路については毎週火曜日の第2便を定期運航としているが、黒島住民の通院や帰省客等により臨時便の運航回数が増えていたため、4月から6月までの実績を加味して年間分を増額している。



富江―黒島間をデマンド運航する市営交通船

管内調査を実施

文教厚生委員会

文教厚生委員会は、7月10日と11日に学校、診療所、図書館、社会福祉施設等を訪れ、施設の現状や事業の実施状況等について調査を実施した。

なお、調査の結果、しま留学制度や地域ミニ・デイサービス事業について積極的な推進を求めるなど、計7項目にわたって要望を行った。



久賀小中学校での調査の様子

行政調査を実施

経済土木委員会

経済土木委員会は、7月10日から13日にかけて、先進地の行政調査を実施した。

調査目的

「地域産業の振興及び観光資源の活用について」

◎島根県隠岐郡海士町

海士町では、島が生き残るための攻めの戦略「島まるごとブランド化」と「いそ焼け対策」について調査を行った。



海士町での調査の様子

◎鳥取県境港市

境港市では、官民一体となって取り組んでいる「妖怪をテーマにしたまちづくり」と「水産物のブランド化」について調査を行った。

12月定例会は12月6日(水)開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。
<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>



☆表紙の題字「市議会だより」は、

三井楽中二年 福元那美葵

さんの作品です。



☆表紙の題字「ごとう」は、

福江小四年 野口琴里

さんの作品です。

編集後記

秋も深まり、これまでの「学びの成果」を発表する文化祭の季節です。

長寿社会を迎え、生涯「学び」続けることの大切さ、そして、人と触れ合うことで、人生がより豊かで充実したものに なっていくのだと感じます。

各地には、先人から伝わる伝統文化や祭り、史跡や景観があります。これら地域の資源を「学び」、後世に伝えることは、地域の活力を取り戻す大きな力となり得るので、と考えるべきです。

今こそ、先人の知恵や経験を受け継ぐ高世代が、次

の世代へ伝統文化や地域の誇りをつないでいくことが、重要ではないでしょうか。

大人から子供まで、それぞれがつながり、知恵と勇気で島の魅力を最大限に引き出し、課題解決のための行動を起こすことが、地域活性化へつながるものと期待します。これからも、市民に親しまれる「市議会だより」発行に努めてまいります。(野口 善朗)



議会広報特別委員会

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 木口 利光 | 委員 | 清川 久義 |
| 副委員長 | 山田 洋子 | 委員 | 林 陸浩 |
| 委員 | 野口 善朗 | 委員 | 荒尾 正登 |